

# 〈参考〉 佐世保中央高校 「いいね!の素」 構想図

## パレードの法則

取り組むべき優先課題の上位20%を解決することに集中すれば、全体の目標の80%を達成できる効果やエネルギーが引き出せるものです。

## ホロンの法則

個が集まれば全体となる。その時、個は全体の一部にしか過ぎない。しかし、いかなる個が存在するかによって全体が変わっていくことを常に念頭に。

## フォレットの法則

個は指示や命令のみでなくその背景となる状況を理解し自分で納得することによって、よい行動へとつながっていくのです。

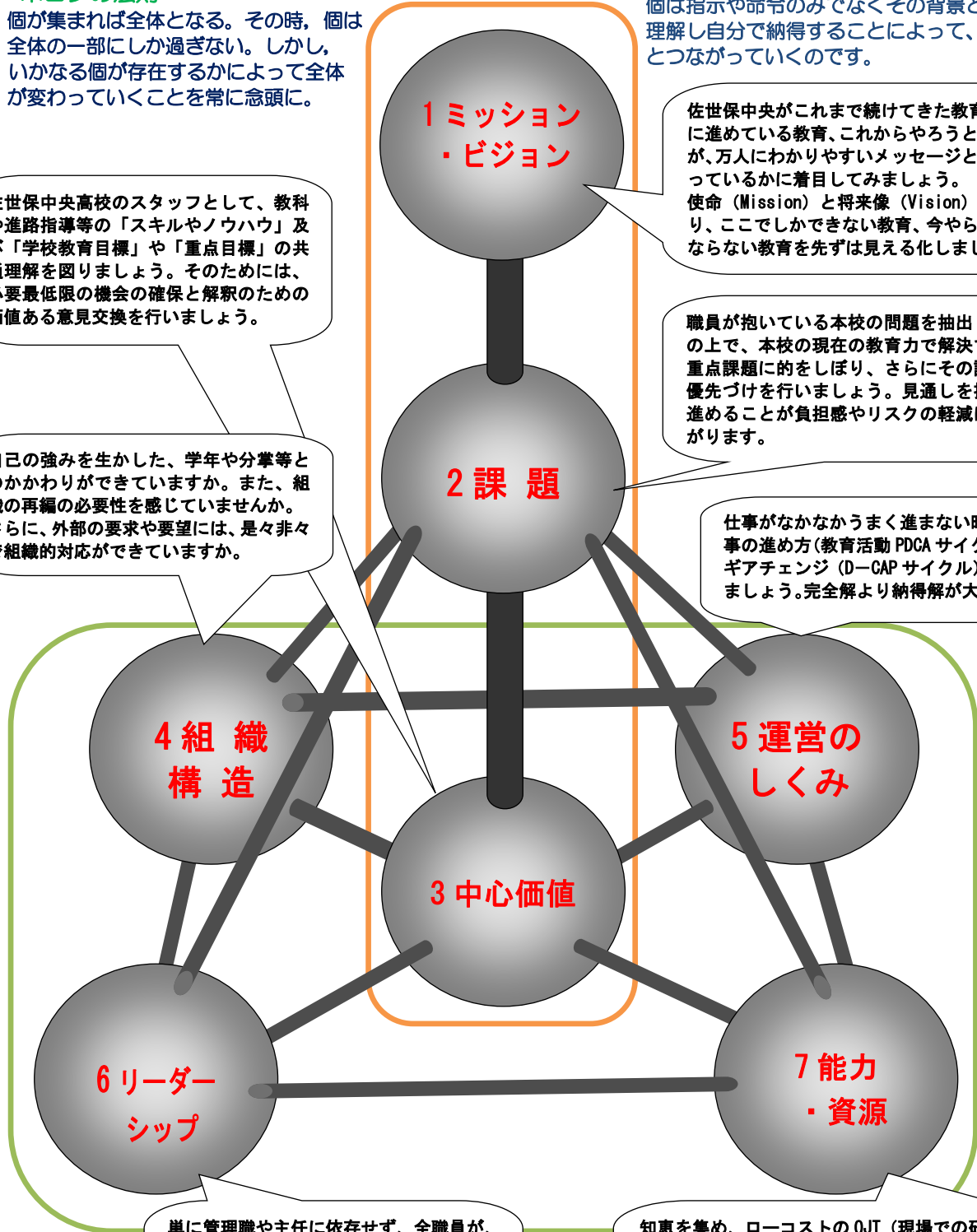
佐世保中央高校のスタッフとして、教科や進路指導等の「スキルやノウハウ」及び「学校教育目標」や「重点目標」の共通理解を図りましょう。そのためには、必要最低限の機会の確保と解釈のための価値ある意見交換を行いましょう。

自己の強みを生かした、学年や分掌等とのかかわりができていますか。また、組織の再編の必要性を感じていませんか。さらに、外部の要求や要望には、是々非々で組織的対応ができていますか。

佐世保中央がこれまで続けてきた教育、今まさに進めている教育、これからやろうとする教育が、万人にわかりやすいメッセージとして伝わっているかに着目してみましょう。使命 (Mission) と将来像 (Vision) に立ち返り、ここでしかできない教育、今やらなければならぬ教育を先ずは見える化しましょう。

職員が抱えている本校の問題を抽出し、その上で、本校の現在の教育力で解決できる重点課題に的をしぼり、さらにその課題に優先づけを行いましょう。見通しを持って進めることが負担感やリスクの軽減につながります。

仕事がなかなかうまく進まない時は、仕事の進め方(教育活動 PDCA サイクル)を、ギアチェンジ (D-CAP サイクル) してみましょう。完全解より納得解が大切です。



単に管理職や主任に依存せず、全職員が、縦軸 (ミッション・ビジョン→課題→中心価値) を念頭におき、自らのあるべき行動である横軸 (組織→運営→能力・資源→リーダーシップ) とすり合わせていくことが大切です。

知恵を集め、ローコストのOJT (現場での研修・研鑽) を行い自らを高めましょう。その際、教科指導に限定することなく、私たちの教職キャリアにプラスになることであれば広く、かた値にしていきましょう。そして生徒や保護者・地域の方々の当事者意識を喚起する仕掛けを創っていきましょう。